

家族で楽しめる本

育児！？育自！！

- ・『ちゃんとたべなさい』
ケス・グレイ 文 ニックシャラット 絵
(小峰書店)
- ・『だめよ、デイビッド！』
デイビッド・シャノン 作
(評論社)

いろいろ私、わたしはわたし

- ・『みんなのかお』
さねとうあきら 写真 とだきょうこ 文
(福音館書店)
- ・『わたし』
谷川俊太郎 文 長 新太 絵
(福音館書店)

家族って・・・

- ・『はつてんじん』
川端 誠 著 (クレヨンハウス)
- ・『うんこ日記』
村中 季衣 川端 誠 著 (BL出版)
- ・『星空キャンプ』
村上 康成 著 (講談社)

いのちを感じる・・・

- ・『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』
長谷川 義史 著 (BL出版)
- ・『かまきりっこ』
近藤 薫美子 作 (アリス館)
- ・『いわしくん』
菅原 たくや 作 (文化出版局)

パパだって、おとうさんだって、とうちゃんだって、絵本

- ・『だじゃれすいぞくかん』
高畠 純 絵 中川 ひろたか 文
(絵本館)
- ・『おりこうねこ』
ピーター・コリントン 作・絵
(徳間書店)
- ・『どこどこどこ いってきまーす』
長谷川 義史 作 (ひかりのくに)

えっ?!ほん ~目からウロコの絵本~

- ・『ZOOM ズーム / RE-ZOOM リズーム』
インシュトバン・バンニャイ 作
(ブッキング)

《発行》 草津市教育委員会事務局
生涯学習課
TEL : 077-561-2427
Email : shogaku@city.kusatsu.lg.jp

図書館
TEL : 077-565-1818
Email : library@city.kusatsu.lg.jp

うちどく 「家庭読書（家読）」の すすめ ～「家読」で家族のコミュニケーション～



うちどく 「家庭読書（家読）」とは・・・

読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取り組みで、家族で本を読む時間を共にしたり、読んだ本の内容について語り合う経験は、子どもの心を潤し、耕していくことになるでしょう。

また、自主的な読書習慣を身につけ、読書を続けていくことで、人を思いやる気持ちや社会のルールを守る意識などを育み、人生を歩んでいく上で大きな支えともなります。

「家読」に決まったルールはありません。
みなさんも家族で取り組んでみませんか？

草津市教育委員会

～子どもも大人も楽しく読書～

《 読み聞かせは楽しい 》

読み聞かせは子どもの心を豊かにすると同時に、保護者と子どもの心をつなぐ大切なふれあいの場でもあります。

子どもは絵本の主人公になり、空想や想像の世界を楽しむとともに、様々な世界観や感情を体験し、家族のコミュニケーションのきっかけともなります。

どうしても、小学生は「字の多い本を…」と思いがちですが、絵で語られている作品を理解することも大切です。



《 家族で一緒に本選び 》

本を選ぶときは、保護者が選んだ本を押し付けるのではなく、あくまでも子どもたちの意思が尊重されることが大切です。

そこで、家族で図書館や書店へ出かけ、一緒に本を選んでみてはいかがでしょうか。子どもが選ぶ本からは、趣味や興味など、子どもの世界がわかります。また、本の選び方がわからない子どもには、保護者が昔読んだ本を紹介してあげるのもコミュニケーションがとれてよいかもしれません。



《図書館「おはなしのじかん」の様子》

《 イベントに参加しよう 》

絵本の読み聞かせは、図書館など地域の施設での読書の催し物を通じて、子どもたちの読書への興味を深めています。

また、「ブックトークコンサート」や「ピリオバトル」、図書館で開催されている「読み聞かせ会」や講座、講演会などの読書に親しむ体験が、子どもたちの読書の楽しさと好きな本に出会うきっかけとなるでしょう。



《ブックトークコンサートの様子》

《 各家庭の「家読(うちどく)」スタイルを 》

「家読」には正しいやり方や、難しい方法はありません。

例えば・・・

- ・〇曜日は「読書の日」と決めて、家族で読書をする。
- ・家族で面白い本をまわし読みする。
- ・親が子どもに読み聞かせ、子どもが親に読み聞かせをする。

など、各家庭の生活に合った方法で、読書を楽しみましょう。



まずは**大人**が楽しもう

何よりも、まず大人が本に触れ、本を楽しむことが一番。

大人は、どうしても子どもに本を読んでほしいと思いがちですが、「家読」は「本を読みなさい」、「本を読ませよう」とするのではなく、基本は「子どもと一緒に本を楽しもう」。

家族で共に本に親しみ、楽しい空間と時間の共有を大切にしたいですね。

家庭教育サポート事業

《活動の概要》

家庭で、子どもたちが基本的な生活習慣や善悪の判断をはじめとした生きる力の基本となる能力を身に付けることは大切なことです。

そこで、市では市内小学校の保護者を対象に、「家庭教育サポート事業」として、家庭でコミュニケーションを図るきっかけづくりを行う、保護者向けの学習プログラムを提供することにより、家庭の教育力の向上を目指す取り組みを実施しています。

その一例として実施した、家庭読書(家読)の推進のための講座は、図書館司書等により、家族での読み聞かせや読書を通じて子どもとふれあい、コミュニケーションをとる大切さについて保護者と考える取り組みです。

図書館司書により実施された「本の楽しみ方や読み聞かせのコツ、おすすめの本」に関する講話では、参加された保護者からは「絵本は文章ばかり追うのではなく、絵も子どもと一緒に楽しみたい」など、子どもたちが感じたり考えたりしたことを大切にするなど、家族でコミュニケーションの糸口をつかむ参考となったようです。

皆さんも、本を媒介とした家族とのコミュニケーション、いかがでしょうか。



《家庭教育サポート事業の様子》

家族で楽しめる絵本の読みかた

1. 大人も子どもも楽しもう！！
2. 絵本は子どもに読ませるのではなく大人が読みましょう！！
3. 絵本はくり返し読みましょう。
4. 絵本は読みっぱなしでいいのです。(感想をきかないで・・・)
5. 一日一冊でも読み続けましょう。(絵本は5～10分で1冊読めます。)

本のことわからないことなどありましたら、お気軽に図書館にお尋ねください。